



2016年 JMRC 関東ラリーシリーズ 群馬ラリーシリーズ
モントレ in ASAMA

コミュニケーション No. 5

発行日時：2016年8月27日 23:00	文章番号：4-05
宛先：全参加者	ページ数：1
発行者：競技長	添付資料：無し
発行内容：ドライバースブリーフィング資料	

競技クルーの安全について

●スペシャルステージ(SS)でコースがふさがれた場合

- ・通れないと判断した後続クルーは、後続車に対し三角停止板を設置し、競技を続行するためにコースをふさいだ停止車両の排除に努力しなければならない。競技進行のために停止車両を排除することは許される。ラリーを続行するために後続車に十分注意し排除作業を積極的に行うこと。
- ・停止車両の排除に努力し停止せざるをえなかった選手に対しては競技長より各クルーに適正だと判断したタイムを与える。但し、ステージストップの原因となったクルーに対しては、これは適用されない。実際にかかった時間が与えられる。

●イエローフラッグ

- ・SSコース上にて、何らかのアクシデントが発生した場合、競技長の指示によりスタートからアクシデントが発生した場所までのすべてのラジオポイントにてイエローフラッグが提示される。
- ・SSスタートではフラッグではなく口頭で指示される。
- ・クルーはイエローフラッグを確認したら直ちに減速し、安全な速度にてストップまで移動する事。また競技役員への指示には必ず従うこと。
- ・イエローフラッグの規則に従わなかった場合はペナルティの対象となる。
- ・スペシャルステージ内にてイエローフラッグが提示されたクルーには競技長より適正だと判断されたタイムを与える。
- ・イエローフラッグが出された状態で走る際もSS中なのでヘルメットを脱いではいならない。ヘルメットを脱いでいた場合、シートベルトを外していた場合はペナルティの対象となる。

【コース】

1. リエゾン区間での暴走行為は厳禁です。また一般車に対して厳しい追い越しや煽る等の行為も謹んでください。
2. 交通違反をした場合、必ずオーガナイザー（競技長）に報告してください。

【救急】

1. リエゾン区間において、救急要請を行う必要があった場合は、各エントラントから110番、119番に直接通報のこと。対処後HQ競技長、または事務局へ文書で報告書を提出されたい。報告事項=救急依頼事項(カーナンバー・対象者・依頼内容)、救急隊所属消防署、搬送病院、病院対処後の処置(入院・治療のみ等)。
2. SS区間内での救急発動は、FIVドクターの判断により主催者が要請する。SS内コースアウト等による医療対応及びコースクリアーを迅速に行うため、直近の競技車両がコース内に停車していた場合は、可能な限りストップ地点のマーシャルに事故の状況報告をすること。
3. OKマークの有無、カーナンバー、停車地点、コース状況等可能な範囲でお願いします。もちろんSOSが出ている場合は、必ず停車し救助を行ってください。

【シケイン】

1. SS2・6(パノラマ)、SS3・7(大前須坂下り)、に設置している障害物が移動又は、破損した場合はパイロン等により、それに代える事がある。
2. 障害物を著しく破損又は、移動させたクルーには、ペナルティを科す事がある。